

第3回 区民版子ども子育て会議議事録

10月2日(金) 18:30-

砧 成城ホール 集会室A&B

参加者数: 25人

◎せたがや子ども子育て楽(学)会をやりたい

3月12日(土)午後にかやがや館(池尻)を予約済

(午前中: 準備 スタート12:30~)

分科会の部屋はけやきネットで2か月前におさえる予定

13年前からの子育てメッセでは団体の発表、提供、連携の場としてはじまった。

現在の「つながるプロジェクト」は当事者同士でワイワイとしている。

地域の連携などができるように世田谷区では「計画づくり」があったので、区民版でもすすめてきた。計画をつくる、という目標があったから進めてこれたが、今後はどうしたらいい?

◎長く続けられる仕組みはできないか?

→学会で何かできないか?

いろいろな実践が区内にちらばっているが、効果や意義、考察は自分たちではしてなかったのを定点観測の機会に。研究者とのコラボをしていけるのでは?

◎ちがう立場の方が参加したり・・・

汐見先生から最後のとりまとめをしてもらう。(コーディネータとして参加予定)

子育て系のバリアフリー: 土木学会(子育て研究小委員会)との共催

↑せたがやのUDデザインの先生もはいている

◎全体の運営、発表、などご協力ください。

◎東大: 真鍋さんを紹介

子育て系のマップ(かきこマップ) 発案・研究者

→かきこマップをママパパぶりっじ(せたがや子育てネットの前身)で情報共有のシステムとして開発。(楽)学会では各団体の活動を可視化できたらいいなと現在関わっていかうと思っている

◎アイデアだし、

初年度としてこれから先に投げかけられるもの(宣言?) → アジェンダの採択

せたがやの子育てへの課題を共有して、実践していく
テーマに沿って発表するなら、どういうテーマにしたらいい？
この部分ならチームでほかの人にも呼び掛けられるよ、など。

フリーにわいわいと話し合えたらいいのかな。今年全部できなくても妄想ベースでの提案
がでたらいいかな。どんなことができるのか？ を話し合う。(30分ぐらい)

4グループに分かれて話す(5~6人)

予算:

がやがや館の使用料

参加費とる?

抄録はどうする?

学会と聞いた時のイメージをだすのもあり

懇親会はどうしたい?というアイデアでもいい

19:00 ワークタイムの時点で25人参加
(申し込み:24人の参加率高し/当日参加5人)

- 1) イメージ
- 2) 発表したいこと
- 3) 呼びたい人、団体
- 4) テーマ
- 5) 共催をお願いするところ

<中間報告>

- 1) 自己紹介の後に、それぞれの想いを話して分科会のテーマを
つながる方法、学会とのギャップがどううまるのか?
仕掛け=学会とあった
- 2) 学会のイメージ →新しい発見、ネットワーク、
文化的要素もいれたい
報告会とどうちがう? 感覚k、経験はあるが裏付けや言語化、可視化が弱い→社会
に発信できるものになれば子育て支援に興味ない人や異分野の人ともつながれる
専門の人は?
子育て支援分野の研究者はまだいない → 福祉、環境、

相乗りではくるが、価値観の芯がないとバラバラにならないか？

いろんなこども感を持った人が集まってくるので、中心の芯となるものは掲げておかないと。

3) 何のためにやる？ほかの活動が参考になる。現場の人が発表することでもモチベーションにつながる→リーダーではない現場の人が発表する

実利性のあるもの 映像ドキュメンタリーを作ったが発表する場がない、という人がいる →

WEBサイトでプロボのサービスをプロモーションしている

研修、分科会

動画撮影で U-stream で流す？

現場の人は時間がない、かわりに誰かが取材する

ポスター発表で掲示もあり(ポスターセッション)

協賛金、スポンサーを集める (稲見先生)

主催はどこ？

4) 妄想が細部すぎた？

ワカモノもやりたい

分科会は、なにでわけ？ 年齢？

不登校だと年齢ではない → ワカモノも！

乳幼児は横のつながりができてきたが、ワカモノ支援の団体はできているが横へのつながりが少ない ネットワーク作りもできないか

ジャンル：ソーシャルワーク

●知恵の入札(現場の人が多いと自分のことがわからない)

→プロフィールが整理できるといい

エントリーにお金を出す？

学者ではないから、学会を見たことない

●いろんな立場の人がくるというなかで、せたがや子育てネットが主催、支援者のとらえかたどうなの？

市民のNPO的のところと民生委員、児童委員の公共の枠組みで支援しているなど、いろんな団体があるので、ある程度カテゴライズできると有機的につながれるのではないか？

地域別なカテゴライズが整理できたらどうだろうか

俯瞰的なものができたらおもしろいのでは？

保育者のガイドラインがあるように支援者の軸があればいいのでは→共通のベース
ガイドライン → ひろばとしてとらえるなら、厚労省から子育てひろばのを参考に、街
に浸透するようなものくずしていくのは
世田谷には「保育の質のガイドライン」がある →世田谷区のHPにも公表されている

ゆくゆくはうまれていくか？

区の事業でなければ趣味といわれてしまう？ ひっそりと実施している人たちもいる
皆で学びたいものを探してくるのもある

●なんのため？メッセとの違いをどうだせるのか？

ワカモノをいれて、となると全世代が大切だが対象はどの範囲にしておくのか？

今のメッセは子連れのお母さんがたくさん来る場になっているが、学会では支援者が集ま
ってくる場

ワカモノの定義は39歳となっているが、10代以上の子は一方的な支援ではなく、当事
者性がないと・・・。

こういうものがなぜ制度になっていないのか？もあり

日本の子どもは迫害されている？

子ども・子育て →子ども・子育て・わかもの

感覚でやってきたのが仕組み、制度がないとしたら今までは使命感でやってきたが、社会
での仕組みにしていくための新しい職業になっていく布石になっていくかも？

自身では支援とは思ってやっていない人もいる

そのなかのどこをやっているか？特別な人がやっているわけではない

裏テーマ：

私にできることはなんだろう？ →意識づけ

イメージブック

「私にも役割がある」を区民にも知ってもらう

子どものほかにワカモノって書けない？

乳幼児だけとは思っていない

ワカモノをいれるのはいいと思う

→あえていれる

ワカモノも大人になり子育て世代となる

大人ではない、子育ては大人？

子ども・子育て会議の対象は小学生まで

ワカモノをいれると広がってしまう

子育て(楽)学会とするなら、範疇を決めてそのなかでしたほうがいいかも

誰がのかってくるかわからない →

児童福祉法では18歳まで

地続きで考えられない 感覚的な遠さ 大変な人たちが

個を対象としたほうがいろいろな人を巻き込みやすい？

虐待の原因は乳幼児期にたどり着くことが多い

初期投資をしたら7倍のお金がおさえられる

子どもが子どもとして育つ →

親の働き方、働かされ方

子どもの権利条約があれば、

●皆が子育てについて関わってもらう →支援者としての新しい立場

●いろいろな人を巻き込みやすい 予防的に関わっていける

専門的な支援者

子育てが関係ないと思っている人

子育て支援の研究者がいない 福祉、保育、医療のおまけ？

社会教育、健全育成もなくなっている

子育てに共通の目標、目的がない →福祉は虐待防止 医療は病気を治す

子どもに対しての目標がない？

対処療法ではダメ 個々では間に合わない

過去の組み合わせがでた結果であることには投資がされない

高校生になった時の暴力が育ちの中であると思う人は少数派

共有している裏付けはない

蓄積は難しい 学術的な研究はされているが、ひろがっていない→自分のものとしてうけ

とめられない

学術的な裏付けがあっても、親の選択なので無理強いはできないと思っている。

日本に限らない →支援

14歳の出産 親であり子どもであり

楽（らく？たのしい？）の実践を披露するのもあり

楽しい学会を日本で初めてやるなら、楽しく帰れる(現場に戻る)のもいい

基本コンセプトはあったほうがいいかな

→励まされたい

笑顔になるには？を発信

新しい価値をはかる物差しをつくる

エビデンスにならないことをしている、

自分のものさし

新しい価値

ノベルティはものさし？

(真面目にあそぶ？)

シンポジウムに出た時に乳幼児支援保健学が衝撃的だった

「乳幼児精神保健学」 渡辺久子先生

乳幼児期の脳の反応があれば、思春期を乗り越えられる

→ かみくだいて親に伝えられたら？

目の前の子どもの利用者支援ばかりになりがち

駒場保育の会(東大)に在籍していると、子育てを学ばせてほしいというスタンスの人も多い

久子先生(ギリシャの時間の概念 クロノス(分刻み)とカイロス(感覚的)を話してもらえたら？

◎対象はどこまで？

→根っこを中心(乳幼児)でよい??

◎こういう団体のこういう人に発表してもらいたいを列挙する

オファーするネタ 区内の実践あるいは区内の活動、先生

- ・ 稲見先生の病児保育
- ・ 改めて聞くほどのものはあるのか？
- ・ 楽しい活動している「父」 おやじの会

- ・おもしろいことしている学校の先生
- ・子ども食堂の実践者(千歳台の縁)
- ・北烏山の存命寺
- ・キャップせたがや
- ・福音寮
- ・野毛風の子
- ・ amigo
- ・児童館の子育て支援館、ワカモノ支援館
- ・自主保育(長い歴史がある)
- ・プレーパーク
- ・主夫
- ・小学校のおやじの会
- ・寺内先生

自分たちが発表するならどんなこと？

ポスターセッションとは？

A3の紙2枚か3枚に活動実績、内容を書いておいておく

<< 次回は11月12日(木) or 19日(木) >>

ホワイトボードから

【支援者】とは？ ←地図があるとおもしろいかも

団体、NPO,ボランティア、民生委員、事業者、専門家

イメージ：新しい発見 ネットワーク「新しい価値のものさし」 →ノベルティはものさし

文化をつくる 「報告会」との違い・・・感覚、警官をうけつぐ意義付け →異分野とつながる

テーマ 予防的に・・・いろんな人をまきこみやすい

対象はどこまで？ ワカモノもいれて！→ここがつながってない

スポンサーあつめ：稲見先生

共催： その前に主催は？

子育て支援分野の研究者？

福祉、医療、まちづくり・・・

あいのりできる良さ

ソーシャルワーカー

プレイワーク

共通になる軸、芯

子どもの権利

「子育て支援」目的が、ゴールが、みつけにくい？

「知恵の入札」

何のため？ メッセとの違い

他の活動を参考にしたい

リアルな話、知見をひろげる、現場の人が「語る」【私にできることは何だろう】

参加する お得感・・・ドキュメンタリーを流したい

好事例 紹介するツールの共有、ファンドレイジング、広報、etc

誰かが取材